

令和 5 年度 東京都立小金井工科高等学校 学校経営計画

東京都立小金井工科高等学校
校長 森田 常次

1 目指す学校

社会の期待に応える専門教育及び幅広い教養と豊かな人間性を育む教育活動を展開し、「思いやりの心をもって他者と協働し、その時代に貢献できる社会人（技術者）」を輩出する学校を目指す。

スクール・ミッション
工業技術専門教育を行う学校として、機械科、電気科、電子科の必要な専門知識を実験や実習を通して技能や技術を身に付けるとともに、基礎学力の定着を図り、社会の期待に応え、工業技術者として社会に貢献し、自立し、他者を尊重し行動できる人間を育成する。
教育目標
自律： 教養を高め、情操と知性との調和を図り、合理的なものの見方や実践の仕方を体得させる。 そして、健康で責任感のある自律の人をつくる。
協調： 他人の人格、立場及び意見を尊重する。 そして、互いに協力し合って社会生活を明るく豊かにする生活態度を身に付けた協調の人をつくる。
技術： 工業技術者としての基礎的、専門的な知識を修得させる。 そして、勤労意欲と創意工夫に喜びを見出すことの出来る技術の人をつくる。
スクール・ポリシー
(1) グラデュエーション・ポリシー 全ての教科・科目、特別活動等の教育活動をとおして、以下の 5 つの資質・能力を身に付けさせ、思いやりの心をもって他者と協働し、その時代に貢献できる社会人（技術者）を育成する。 ① 基礎的・基本的な学力 ② コミュニケーション能力 ③ 主体的に取り組む姿勢 ④ 自己理解・自己管理能力 ⑤ キャリアプランニング能力
(2) カリキュラム・ポリシー 多様な生徒が学ぶ機会を提供し、生徒相互・生徒と教員のコミュニケーションを大切にしながら、生徒の状況に応じた学習活動、生活指導、教育相談、進路指導等が実践できる教育課程を編成・実施する。 ① 基礎的な知識・技能が習得できる科目を重点的に配置する教育課程を編成する。 ② 基礎・基本の確実な定着を図るため、きめ細やかな指導と分かりやすい授業を展開する。 ③ 自らの課題に主体的・協働的に取り組み、その課題を解決しようとする力を育てるため、教え合い学び合う授業、課題研究、行事等を実践する。 ④ 家庭や地域、ハローワーク、企業等との連携し、生徒一人ひとりの進路実現する進路指導を展開する。 ⑤ スクールカウンセラーや外部機関と連携し、生徒一人一人の発達段階に応じた指導・支援を展開する。 ⑥ 生徒、保護者、地域による学校評価の結果や学校連絡運営協議会により評価し、教育課程を改善する。
(3) アドミッション・ポリシー 次のような生徒を求める。 ① 「命と体と仲間を大切にしよう」が実践できる生徒 ② 機械、電気、電子やものづくりに意欲・関心のある生徒 ③ 部活動、委員会活動、奉仕活動等に積極的に取り組もうとする社会性のある生徒 ④ 本校入学を機に、専門的な知識・技術を身に付けたいと考えている生徒

2 中期（令和7年度目途に達成する）目標とその達成に向けた具体的な方策

スクール・ミッションである「社会の期待に応え、工業技術者として社会に貢献し、自立し、他者を尊重し行動できる人間を育成」を達成するために、中期目標とその達成に向けた具体的な方策を次のとおり設定する。

(1) 90%以上の生徒が「学ぶことの喜び」を感じることでできる授業を展開

基礎的・基本的な学力（活用することができる知識・技能）の定着、学ぶ意欲の醸成を図るために、「生徒による授業評価」「教職員相互の授業観察による授業研究」「生徒の特性に応じた教材やICT機器を活用した教材の開発」を実施する。また、多様な生徒の学びに対応するため、「ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくり」や「合理的配慮の必要な生徒に対する指導に関する研修」等を実施する。

(2) 全ての生徒が「自分自身の特性を理解し、自己の生き方・在り方」を考えることでできるキャリア教育を展開

自分と向き合い、自己を理解し、進路実現に向けて積極的に取り組もうとする生徒を育成するために、「適性検査やキャリアパスポートの活用の充実」「人間と社会の指導の充実」「資格取得のための指導体制の確立」を実施する。

(3) 90%以上の生徒が、社会性・規範意識が高め、多様性を尊重する身に付けることでできる教育活動を展開

思いやりや責任感、自己肯定感の醸成、人権感覚を高めるため、ねらいをもって計画的・組織的にホームルーム活動・学校行事を展開する。

(4) 不本意入学者ゼロとなるよう、学校説明会、体験学習、学校ホームページの活用した適切な学校情報を発信

3 令和5年度における取組目標とその達成に向けた具体的方策

就職や進学などの生徒の進路実現に向け、「基礎的・基本的な学力の定着、専門的な知識の習得、創造性を育成する授業」と「自己理解やソーシャルスキルの向上を図るキャリア教育」の充実に重点を置き、日々の教育活動を展開する。また、学校説明会、体験入学、学校HP等をとおして広報活動を充実させ、多くの都民や意欲の高い受検生に学校の魅力を紹介することで本校志望者数の増加につなげていく。

(1) 学習指導の充実

取組目標	その達成に向けた具体的方策
① 基礎的・基本的な学力の定着、学ぶ意欲の醸成	・授業時数の確保及び補習や講習の実施 ・ICT機器を活用した教科指導上の工夫 ・教職員相互の授業参観等の促進 ・授業評価アンケートによる授業改善の実施
② 学習指導上、配慮を必要とする生徒への支援	・ユニバーサルデザインに基づく学習環境の整備 ・個に応じた学習指導の推進
③ 専門高校としての教育課程の確実な実施と充実	・資格取得を目指した講習の実施 ・観点別学習状況の評価と指導の一体化

(2) 進路指導の充実

取組目標	その達成に向けた具体的方策
① 進路決定率の向上	・進路決定に役立つ企業（学校）見学会や就業体験の実施 ・適性検査やキャリアパスポートの活用の充実 ・「人間と社会」による生き方・在り方の指導の工夫

② 効果的な進路情報の提供の工夫	<ul style="list-style-type: none"> 外部専門機関や企業との連携による説明会の実施 求人票等の情報を生徒に提供する上での諸改善 特別な支援を必要とする生徒の進路実現に向けた専門機関等との連携促進
③ 進路先開拓活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> 新規、卒業者就職先訪問の実施 ハローワークとの連携の充実

(3) 生活指導・保健活動の充実

取組目標	その達成に向けた具体的方策
① 基本的な生活習慣の確立及び規範意識の醸成	<ul style="list-style-type: none"> 情報共有や全職員の一貫した指導体制の確立 「あいさつ」指導の充実（職員による率先垂範）
② 交通安全指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> 自転車の運転に関わる安全指導の実施
③ 防災教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 防災ノートやマイタイムラインの活用、防災講話の実施
④ いじめに対する総合対策の実施及び自殺対策に資する教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 学校いじめ対策委員会を中心とした指導体制の確立 自殺総合対策大綱に基づく指導の実施 生徒のSOSをキャッチしやすい教育環境の確立 スクールカウンセラーと担任の連携
⑤ 特別支援教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 通級指導に関する指導体制の確立 関係する生徒、保護者への丁寧な説明と対応
⑥ 自己管理能力の向上と食育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 体調管理の指導の充実 グループ給食（親校）機能の充実 食堂におけるルールの定着と円滑な運用

(4) 特別活動、部活動、地域交流等の充実

取組目標	その達成に向けた具体的方策
① 自己肯定感の向上及び帰属意識の醸成	<ul style="list-style-type: none"> 自主的で計画的なホームルーム活動の充実 学校行事等の充実により生徒の自主性を育成 ボランティア活動や地域活動の推進
② 生徒の体力向上の推進	<ul style="list-style-type: none"> 東京都統一体力テストの実施と施策の活用

(5) 募集・広報活動等の充実

取組目標	その達成に向けた具体的方策
① 学校説明会への積極参加	<ul style="list-style-type: none"> 合同説明会、体験入学などに参加
② ホームページの充実	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の活躍、施設・設備の魅力、トピックス等の紹介 ホームページ更新の促進、企業向け来校案内の充実
③ 来校者対応の充実	<ul style="list-style-type: none"> 接客マナーの向上、来校希望者への誠実な対応

(6) 学校経営・組織体制

取組目標	その達成に向けた具体的方策
① 服務事故防止に関する取組の充実	<ul style="list-style-type: none"> 校内個人情報管理基準の運用徹底 体罰の根絶に向けた取組の推進 定期的な研修会及びチェックシートによる教員自身の振り返りを実施
② 働き方改革推進に向けた業務の効率化	<ul style="list-style-type: none"> 業務の継承とOJTを目的とした分掌内分担の実施 コストパフォーマンスが高い業務遂行の工夫（計画的に行う、ムダをなくす、整理整頓） 多摩科学技術高校との日常連携の促進（各分掌）

③ 地域から信頼され、必要とされる学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・地域への広報活動の充実 ・学校運営連絡協議会や学校評価委員会の運営方法の工夫
④ 経営企画室の経営参画	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者業務情報連絡会や研修会を通して、進行管理を適切に実施 ・円滑な教育活動の実施に資する業務遂行

4 令和5年度に重点とする取組の具体的な数値目標

(1) 学習指導の充実

取組目標	目標値
①生徒が楽しい授業・理解しやすいと感じている授業を展開している教員の割合 (授業評価アンケートにより)	90%以上
②教員相互の授業参観による授業研究の教員一人当たりの回数	5回以上
③観点別評価の在り方や評価と指導の一体化に関する研修会の実施回数	3回以上
④資格取得に向けた講習会を実施した回数	

(2) 進路指導の充実

取組目標	目標値
⑤進路決定に向けた指導や情報提供がされたと感じている生徒の割合(学校評価アンケートにより)	80%以上
⑥就業体験に関する満足した生徒の割合(学校評価アンケートにより)	80%以上
⑦進路決定した生徒の割合	90%以上
⑧新たな資格取得にチャレンジした生徒数	30名以上

(3) 生活指導・保健活動の充実

取組目標	目標値
⑨交通安全・防災に関する授業・講習会の実施回数	5回以上
⑩いじめ・自殺等に対する防止対策に関する研修会の実施回数	6回以上
⑪特別支援教育を推進していることを理解している生徒・保護者それぞれの割合(学校評価アンケートにより)	85%以上

(4) 特別活動、部活動、地域交流等の充実

取組目標	目標値
⑫ホームルーム活動・学校行事が有意義だと感じている生徒の割合(学校評価アンケートにより)	80%以上
⑬学校行事・ボランティア活動に今後参加したいと感じている生徒の割合 (学校評価アンケートにより)	80%以上

(5) 募集・広報活動の充実

取組目標	目標値
⑭合同説明会への参加、学校見学会、体験入学など実施の回数	10回以上
⑮ホームページの閲覧(アクセス)数	500回以上

(6) 学校経営・組織体制

取組目標	目標値
⑯サービス事故防止に関する研修会及び自己チェックの実施回数	3回以上
⑰定時外在校時間80時間以上の教職員数	0人
⑱効果的・効率的な予算執行(一般需用費のセンター契約集約率)	60%以上